

反力壁・反力床

チョット一言

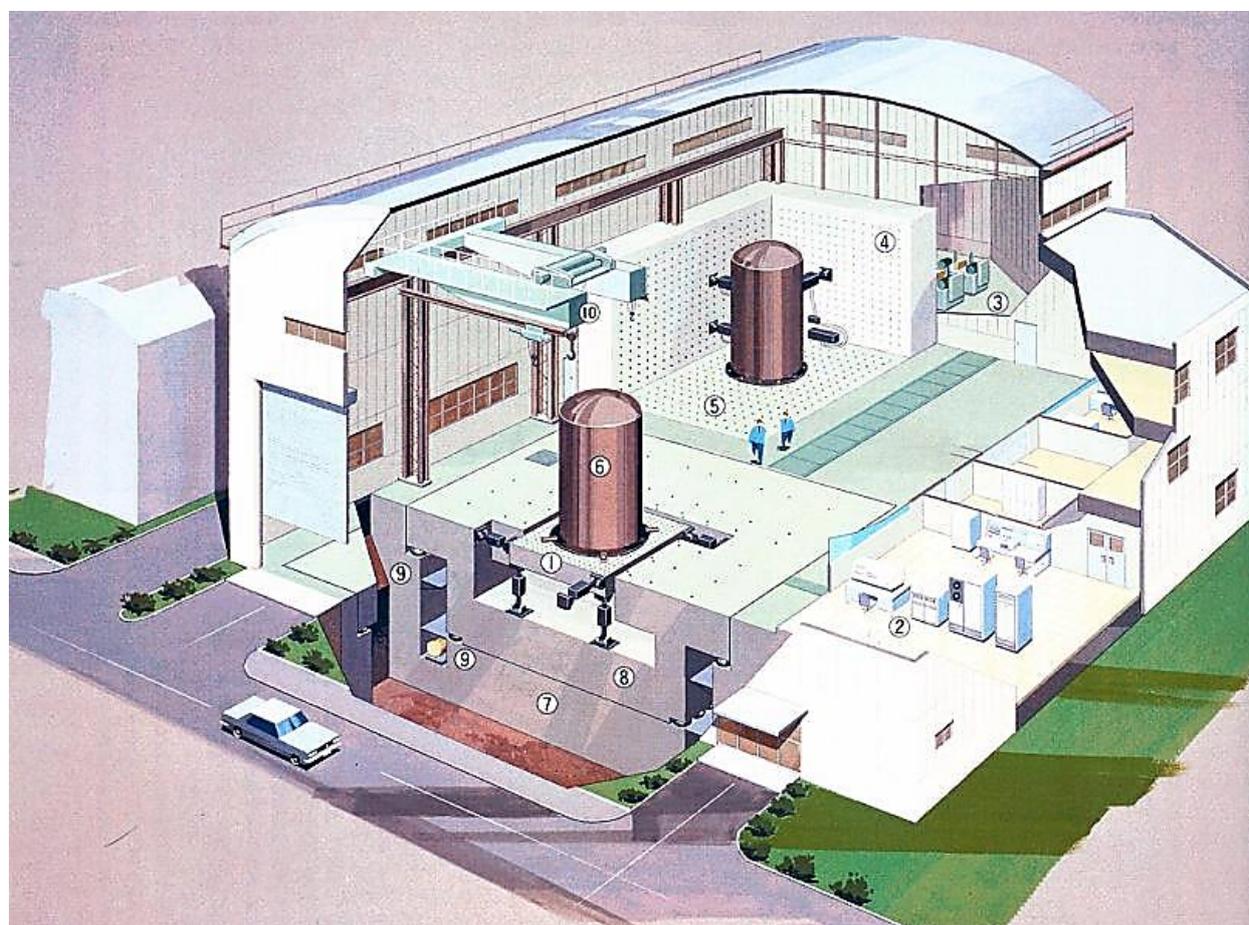
日本は地震大国，耐震は“命を守る”礎です。

概要

油圧ジャッキなどで試験体に荷重を加えると、その逆方向に反力が発生します。この反力を受け止めるための設備が反力壁と反力床です。

壁面や床面には試験体を固定するボルトが等間隔に設けてあり、様々な大きさの試験体にご利用頂けます。

ラインナップ



- | | |
|-------------------|----------|
| ① : 35ton3次元振動台 | ⑥ : 試験体 |
| ② : 計測・制御室 | ⑦ : 固定基礎 |
| ③ : 油圧源室 | ⑧ : 浮基礎 |
| ④ : 反力壁 (10×8×8m) | ⑨ : 空気バネ |
| ⑤ : 反力床 (10×8m) | ⑩ : クレーン |

仕様

反力壁・床仕様

項目	仕様
壁寸法	幅：8mおよび10m 高さ：8m
床寸法	8m×10m
固定ボルト穴－間隔	500mmピッチ
固定ボルト穴－サイズ	M72、カプラー使用時M42
固定ボルト穴－最大引張荷重	147kN（15ton）/箇所
許容最大曲げモーメント	3,920kN・m/m（400ton・m/m）

試験場仕様

項目	仕様
試験場搬入口	幅5m×高さ8.5m
天井クレーン	1基(主巻30ton×1台-揚程10m/補巻5ton×2台-揚程9m)
所在地	神奈川県横浜市磯子区新中原町1番地(IHI横浜事業所内)
最寄駅	JR京浜東北・根岸線 新杉田駅

適応事例



新型宇宙ステーション補給機(HTV-X)
静荷重試験